

受 験 番 号					

氏 名	

2023年度
放送大学大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻
人間発達科学プログラム
筆記試験問題

試験日：2022年10月1日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（1ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
小問題及び選択問題を解答する際の番号等は、解答用紙のマス目の左側の「小問題番号等記入スペース」に記入してください。
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、人間発達科学プログラムは2枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

人間発達科学プログラム 筆記試験問題

第1問（教育学分野）と第2問（心理学分野）のうち、自分が専攻したいと思う分野の問題を選び、解答しなさい。解答のはじめには、必ずどの問題に対して解答するのか分かるように、それぞれの問題の指示にしたがって番号を明記すること。

第1問（教育学分野）

次の（1）（2）に解答しなさい。解答にあたって、（1）と（2）は別の解答用紙を用いること。

（1）教育における様々な不平等の動向について、具体的な根拠を示しながら、あなたの考えを800字以内で述べなさい。解答にあたっては解答用紙の冒頭（欄外スペース）に（1）と記すこと。

（2）以下に示す用語・概念から3つを選択し、それぞれにつき250字以内で論じなさい。

解答にあたっては選択した用語・概念ごとに解答用紙の冒頭（欄外スペース）に

（2）①、（2）②、（2）③、（2）④、（2）⑤、（2）⑥のように記すこと。

① ESD (Education for Sustainable Development)

② 不登校

③ GIGA スクール構想

④ accreditation (アメリカ高等教育の文脈に言及すること)

⑤ 地域社会と教育

⑥ career development

第2問（心理学分野）

次の（1）（2）に解答しなさい。解答にあたって、（1）と（2）は別の解答用紙を用いること。

（1）ICT（情報通信技術）の急速な進歩と普及を踏まえて、今後10年を見通したときに、私たちの行動や心理はどのように変化すると考えるか、心理学の視点から800字以内で論じなさい。解答にあたっては解答用紙の冒頭（欄外スペース）に（1）と記すこと。

（2）以下に示す用語のすべてについて、1つの用語につき200字以内で説明しなさい。

解答にあたっては用語ごとに解答用紙の冒頭（欄外スペース）に（2）①、（2）

②、（2）③、（2）④と記すこと。

① エピソード記憶

② 確証バイアス

③ 結晶性知能

④ 交互作用効果